

広報あつさぶ

ASSABU

2019.1
661号

あけましておめでとう

2019



迎春

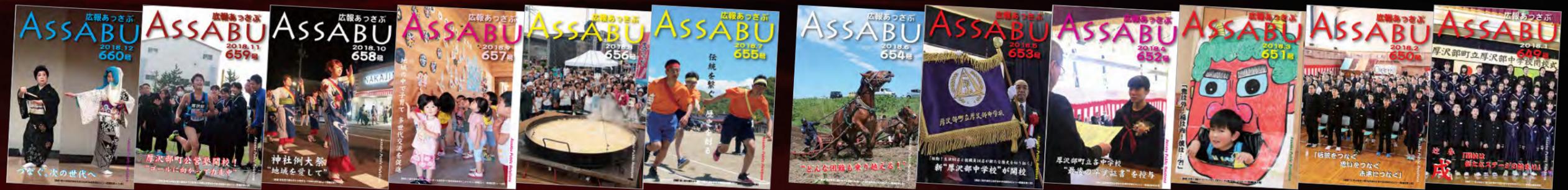
亥

Assabu Public Relations

【表紙：厚沢部保育所たんぼぼ組（年長児）による正月制作～「良い1年になりますように」】

特新集春

特新集春



2018年の厚沢部のあゆみ

ゆく年あつさぶの1年

(10月)
「学力向上と個人の資質を養成『公営塾』開校」



▲道南圏では初となる『厚沢部町公営塾』(11月号)

(9月)
「胆振東部地震が発生し道内停電襲う」



▲暗闇の中、地域では支えあいの光(10月号)

(2月)
「地域住民同士の支えあいを推進」



▲『ふれあいサロンあかめま始動!』(3月号) ▲町内3中学校『高齢者宅雪かきボランティア』(3月号)

(1月)
「1日降雪量『史上最多』50センチを記録」



(4月・12月)
「新規就農めざし
『地域おこし協力隊』着任」



▲増崎圭太郎隊員着任(4月号)
▼山本和範隊員が着任(今月号)

(4月)
「新たな歴史を切り拓く『新・厚沢部中』開校」



▲新『厚沢部町立厚沢部中学校』開校式(5月号)

(3月)
「町立3中学校『最後の』卒業式挙行政」



▲第71回『館中学校卒業証書授与式』(4月号)

(7月)
「厚沢部町消防団全道大会3位入賞!」



▲『北海道消防操法訓練大会』(8月号)

(7月)
「子育てと多世代交流の拠点『認定こども園』着工」



▲『厚沢部町認定こども園新築工事安全祈願祭』(8月号)



2019年
どうか皆様にとって
良い1年となりますように
今後とも広報あつさぶを
ご愛顧賜りますよう
よろしくお願いたします

2018年も
広報あつさぶをご覧いただき
誠にありがとうございました
2018年の町の主な出来事を
広報あつさぶでふりかえります

猪突猛進

「素敵な過疎の まちづくり」に邁進



厚沢部町長 高橋 正己

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた2019年の輝かしい新春を、皆様と共に迎えられることを心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では第4次安倍改造内閣が発足し、初閣議で『復興・国土強靱化の推進』『頑張った人が報われる経済成長』全ての世帯が安心できる社会保障改

革『美しく伝統ある故郷を守り、次世代へ引き渡す』新しい時代のアジア太平洋の平和と繁栄の礎を築く』の5項目の基本方針を決定しました。

昨年、国内で自然災害の多い年でした。1月下旬からの豪雪で、日本海側では各地で記録的な大雪に見舞われ、本町では鶉のアメダスで1日降雪量が50センチを記録。国道227号が3度も通行止めとなるなど日常生活に大きな支障をきたしました。

また、今年10月の消費税率引き上げが経済に影響を及ぼさないようあらゆる施策を総動員するとし、幼児教育の無償化など未来を担う子どもたちや子育て世代に大胆に投資し、全ての世代が安心できる社会保障改革を進めるとしてあります。

課題解決に向け、国の速やかでしつかりとした責任ある対応を願うところであります。

昨年、国内で自然災害の多い年でした。1月下旬からの豪雪で、日本海側では各地で記録的な大雪に見舞われ、本町では鶉のアメダスで1日降雪量が50センチを記録。国道227号が3度も通行止めとなるなど日常生活に大きな支障をきたしました。

また、今年10月の消費税率引き上げが経済に影響を及ぼさないようあらゆる施策を総動員するとし、幼児教育の無償化など未来を担う子どもたちや子育て世代に大胆に投資し、全ての世代が安心できる社会保障改革を進めるとしてあります。



▲公営塾講師陣(左より:仲見先生・東先生)

題の研究に取り組んでもらい、地元へ貢献する人材を育成するものです。この協定を機に、一人でも多くの人材が輩出されることを期待しております。

本年は亥年。「亥」は覚え易くするために動物の「猪」が割り当てられました。日本では「猪」の字は「イノシシ」という意味ですが、中国では「ブタ」を意味しているようです。

さらに、4月には、震度5強の鳥根県西部地震が、6月には震度6弱の大阪北部地震が発生。9月6日未明には北海道厚真町で階級の最も高い震度7を観測した胆振東部地震が発生しました。

昨年、国内で自然災害の多い年でした。1月下旬からの豪雪で、日本海側では各地で記録的な大雪に見舞われ、本町では鶉のアメダスで1日降雪量が50センチを記録。国道227号が3度も通行止めとなるなど日常生活に大きな支障をきたしました。

また、今年10月の消費税率引き上げが経済に影響を及ぼさないようあらゆる施策を総動員するとし、幼児教育の無償化など未来を担う子どもたちや子育て世代に大胆に投資し、全ての世代が安心できる社会保障改革を進めるとしてあります。

また、立命館慶祥高校(江別市)と本町の発展に貢献できる人材育成を目的とした協定を締結しました。町長推薦枠が設けられ、入学後は地域課

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を、心からご祈念申し上げます。



副町長 松橋 道雄



教育長 鈴木 聡

謹賀新年

◆総務政策課

Table listing staff for various departments including General Administration, Finance, Tax, and Social Welfare.

Table listing staff for various departments including Childcare, Agriculture, Forestry, and Construction.

新年のご挨拶

厚沢部町議会議長

鈴木祥司



新年明けましておめでとう
ございます。輝かしい平成31
年の新春を町民の皆様と共に
迎えられますことを心からお
慶び申し上げます。

併せて、皆様には日頃から
議会に對しまして、温かいご
理解とご協力を頂き心から厚
くお礼申し上げます

昨年を振り返ってみますと
9月6日には北海道では初め
となる震度7を観測した胆
振東部地震が発生しました。
土砂崩れや建物の倒壊により
甚大な被害が発生。また、北海
道全域が停電となる「ブラッ
クアウト」に見舞われ、本町に
おいても商工業や観光業を中
心に営業被害があったところ
でございます。被災地では、今
なお不自由な生活を強いられ
ている人達も多く、1日も早
い復興を願うところでありま
す。

国政においては第4次安倍

内閣が発足。首相は所信表明
で「我が国が直面する最大の
課題は国難とも呼ぶべき少子
高齢化である」とし、この課題
に真正面から立ち向かうため
子供から現役世代、お年寄り
まで全世代が安心できる社会
保障制度に改革を進めるとし
ております。生涯現役社会を
実現するための雇用制度や未
来を担う子供達、子育て世代
に大胆な投資を実現させ若者
からお年寄りまで全世代が安
心して生活できる施策の実行
を期待しているところです。

現代社会を取り巻く環境が
著しく変化する中で地方行政
の果たすべき役割と責任はま
すます大きく、将来にわたり
活力ある社会を維持していく
ためには地域の特色を出した
地方創生の取組を推進してい
くことが重要だと考えます。

農業委員会だより

Vol.103



会長 外崎 明

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり謹
んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

また、日頃より農業委員会
活動にご理解とご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

昨年は、6月下旬から7月
中旬にかけての曇天や長雨に
よる日照時間の短さや降雨量
の多さ、8月中旬の局地的な
集中豪雨や台風21号など自然
災害に見舞われた1年だった
と思います。

さて、農業委員会は、現体制
になってから2年目となりま
したが、新任委員がベテラン
委員や中堅委員と同様に農業
委員会総会で積極的な意見を
交わすようになり総会がより
活発に行われております。

また、農地等の利用最適化
(担い手への農地利用の集積・
集約化、耕作放棄地の発生防
止・解消、新規参入の促進)の
推進、現地調査等においても
同様に積極的に取り組んでお
ります。

今年には新任委員を主として
積極的に研修受講をすすめ、
農業委員会の運営にかかる知
識等をより高めていき、「農地
の番人」として高い中立性と
地域からの厚い信頼を得られ
るよう農業委員会の体制強化
を継続的に図っていきたくい
と思います。

農地の売買、貸借など農地
に関する事等相談することが
ございましたら、私達農業委
員へ相談してください。

農業は、従事者の高齢化や
後継者不足、鳥獣被害、自然災
害による農地、農作物等被害
対策など課題が山積していま
す。農業者が将来に希望を持



副議長 佐々木 宏

▼総務文教常任委員会

- 委員長 山崎 孝
- 副委員長 下川部 洋
- 委員 佐々木 宏
- 委員 浜塚 久好
- ▼産業厚生常任委員会
- 委員長 高田 一弥
- 副委員長 松村 松雄
- 委員 中山 俊勝
- 委員 只野 勲

議会といたしましても、よ
り開かれたわかりやすい議会
運営を行いながら、行政運営
の監視とチェック機能の強化
を今後も図ってまいります。
「厚沢部町に生まれ育ったこ
とに誇りと自信を持てる『安
全で安心して暮らせるまちづ
くり』のため、その職責を果
たしてまいりますので、ご支
援ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。迎えました新年
が皆様にとって素晴らしい年
でありますようご祈念いたし
まして年頭の挨拶とします。

- 会長 外崎 孔明
- 会長代理 小野寺 藍
- 委員 吉田 藍
- 委員 奈良 正人
- 委員 佐藤 美登子
- 委員 木口 幸弘
- 委員 高田 隆幸
- 委員 前田 秀幸
- 委員 西口 智章
- 委員 斉藤 和博
- 委員 佐藤 龍也
- 委員 下川部 和宏
- 委員 佐藤 貴彦
- 委員 由利 昭人

また、農地等の利用最適化
(担い手への農地利用の集積・
集約化、耕作放棄地の発生防
止・解消、新規参入の促進)の
推進、現地調査等においても
同様に積極的に取り組んでお
ります。

今年には新任委員を主として
積極的に研修受講をすすめ、
農業委員会の運営にかかる知
識等をより高めていき、「農地
の番人」として高い中立性と
地域からの厚い信頼を得られ
るよう農業委員会の体制強化
を継続的に図っていきたくい
と思います。

農業は、従事者の高齢化や
後継者不足、鳥獣被害、自然災
害による農地、農作物等被害
対策など課題が山積していま
す。農業者が将来に希望を持

◆国保病院

- 院長 佐々木 紀仁
- 副院長 木村 一隆
- 医師 南田 英俊
- 事務局長 高野 政人
- 主任幹事 北川 広幸
- 兼事務局長 林 慶太
- 兼事務局長 坂本 和晃
- 兼事務局長 道島 洋子
- 兼事務局長 金澤 潤子
- 兼事務局長 松橋 和子
- 兼事務局長 鈴木 ゆきみ
- 兼事務局長 中島 育子
- 兼事務局長 丹保 麻美
- 兼事務局長 中川 麻子
- 兼事務局長 溝口 真由美
- 兼事務局長 高杉 裕美子
- 兼事務局長 國仙 若子
- 兼事務局長 山田 応里絵
- 兼事務局長 尾山 順子
- 兼事務局長 杉野 麻美
- 兼事務局長 亀田 美智子
- 兼事務局長 増崎 麻希
- 兼事務局長 大滝 美千代
- 兼事務局長 岩田 久美子
- 兼事務局長 下川部 紀子

◆厚沢部消防署

- 署長 相馬 優
- 主任幹事 福田 昭浩
- 兼事務局長 中山 博之
- 兼事務局長 松原 茂樹
- 兼事務局長 下川部 純
- 兼事務局長 並川 光生
- 兼事務局長 加澤 寛明
- 兼事務局長 三崎 慶智
- 兼事務局長 酒井 遵樹
- 兼事務局長 松神 雅朗
- 兼事務局長 太田 稔久
- 兼事務局長 庄山 一輝
- 兼事務局長 森山 泰風
- 兼事務局長 柴田 直行
- 兼事務局長 佐々木 智也

◇派遣

- 北海道農政部長 田中 将之



第4回町議会定例会

第4回町議会定例会が12月11日(火)・12日(水)の2日間開催され、平成30年度一般会計及び各特別会計補正予算や条例の改正等が審議されました。なお、議事の詳細につきましては、『議会だより3月号』及び『町ホームページ』でお伝えします。

一般会計予算を追加

30年度一般会計補正予算は9千410万3千円を追加し予算総額を49億2千49万1千円としました。

町認定こども園

設置条例を制定

各補正予算の審議に続き、条例一部改正案が3件、条例制定案が2件、協定一部変更案が1件審議され、いずれも原案どおり可決されました。なお、新たに制定された2件の条例は本年4月に開設する『厚沢部町認定こども園』と『発達支援センター』の設置に関する内容となっております。

健康で楽しく過ごされることが切に願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。

農業者年金、売買、貸借・相続など農地に関する事は、農業委員会事務局(☎64-3314)へご相談ください。



順調に作業が進むこども園

厚沢部町議会議員の中山俊勝さん(68歳)が北海道社会貢献賞(自治功労者)に選ばれ、12月11日(火) 檜山振興局小林敏克振興局長から表彰状と記念品が伝達されました。

北海道社会貢献賞 中山俊勝議員に贈呈



▲(左より)厚沢部町長、中山俊勝さん、小林敏克振興局長

中山さんは平成3年5月から町議会議員を務め、これまでに社会文教委員会委員長や産業厚生常任委員会委員長などを歴任。平成23年5月から平成27年4月までは、町議会副議長の重責に就き、議会の円滑な運営と議員の融和に尽力されました。現在は、議会運営委員会委員長に就き、優れた識見と行動力、町民目線の政治信念で、町政の振興発展

に尽力されています。地域住民のために永年積極的な活動をしてきたことが高く評価され北海道社会貢献賞(自治功労者)受賞となりました。表彰状を手にした中山さんは「この賞は町や町民の皆様のご指導ご協力のお陰であり感謝の気持ちでいっぱい。この度の受賞に恥じないよう今後も町の発展に寄与していきたい」と意欲を語りました。

子どもたちを笑顔に

「メリークリスマス・スプー・スプー(なぜかナルドの笛)厚沢部町にもサンタクロースが住んでいる。毎年クリスマス時期になると、町内や水堀地区の子どもがいる世帯を突撃訪問。移動距離や軒数の多さから3月まで掛かった年もあると…。今回の『人財あっさぶ』は40年近くボランティアでクリスマスプレゼントを配る湯田皓二(愛称・ゆだサンタ)さんを紹介します。

人財あっさぶ 厚沢部を支え盛り上げる あっさぶ人を紹介します

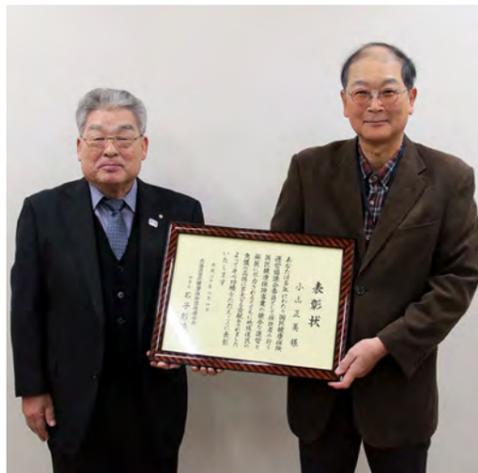
始まりは娘が保育所に… 「かれこれ40年前。一番上の娘を厚沢部保育所に預けた年だったかな。お世話になってきた保育所に何かしたくて。今では各保育所から招待状が届くけど最初は突撃訪問」と。それから40年(私の歳と同年)続くサンタさん。偉大な方だ。



「最近学校にお願いしても、『個人情報だから×』と家を教えてもらえなくて…」と嘆く湯田さん。「子どもがいる全世帯にプレゼントしたいので遠慮せず連絡を」と。

北海道国民健康保険団体連合会表彰

小山正美さん(緑町)が受賞



▲今後も更なるご指導ご協力をお願いいたします！

小山歯科医院院長の小山正美さん(67歳)は平成30年度北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞し、12月3日(月) 洪田正己町長から表彰状と記念品が伝達されました。小山さんは、平成17年6月、厚沢部町国民健康保険運営協議会委員(保険医代表)に就任以降13年にわたり、国民健康保険運営協議会の健全な運営と発展に協力。さらに、豊富な識見や経験を活かして地域住民の意識高揚にも尽力するなど、永年の多大な功績が称えられ、この度の受賞となりました。

大瀧菜々夏さんが優秀賞受賞

全国中学生人権作文 コンテスト函館大会

第38回全国中学生人権作文コンテスト函館地方大会(函館地方事務局・函館人権擁護委員連合会主催)において、厚沢部中学校3年・大瀧菜々夏さんが優秀賞(函館人権擁護委員連合会長賞)を受賞し、12月10日(月)、表彰授与式が同校で行われました。この人権作文コンテストは、『私たちの周りにおける様々な人権問題について考えることを通じて豊かな人権感覚を身に付けてもらうこと』を目的に毎年実施されています。今年度は函館地方事務局管内の中学校23校から838編もの応募がありました。



▲(左より)岩田人権擁護委員、大瀧菜々夏さん、塩崎校長先生

いつからか各家庭にも…

「保育所を卒園する子どもから『小学校にも来てね』と言われたけど、小学校は難しい。それなら家に行こうと思っただけが始まりかな。昔は学校から家の地図を提供してもらえなかったから行きやすかったけど、今は記憶とクチコミが頼り。年々記憶が衰え、『〇〇君の家に来てない』と子どもから教えられることもある」と笑う。「みんなが同じ気持ち、笑顔になって欲しいから全世帯を訪れている。厚沢部の人は寛容だから突撃訪問も受け入れてくれる。たまに、『やっと寝たのに！』と怒られるけど」と。

湯田家のクリスマスは…

「クリスマス時期は外に出たから我が子にはクリスマス会をしていない。当時はスプー・スプー言われていたかも。そんな息子や娘がここ数年、クリスマス時期に厚沢部に来てトナカイ(運転手)になってくれる。すごく嬉しいよ」と。(取材中両者の目は赤く…)(続)



続・協力隊新聞 笑顔であっさぶ Vol.12

皆さんこんにちは。昨年の4月に地域おこし協力隊(新規就農研修生)として着任し1シーズンを終えました。今月号では昨年の活動を振り返っての感想をお話します。

4月から長谷川博紀さん(館町)のもとで研修を開始しハウスの屋根を張り、雪の下で枯れていたアスパラを刈り土を耕し、肥料をまき、収穫をして立茎の準備など、たくさん経験させていただきました。アスパラ農家の仕事は想像していた以上に力仕事が多く、少し驚きましたが、仕事内容は楽しく、『準備が大事だ』と感じました。

アスパラ農家は、雪が溶けてから収穫を終えるまで、『事前に作業の準備をし、そして、考えたことを行動に移すことが大切だ』と感じました。準備が不足していると作業は上手く進むことはなく、また、昨年6月の長雨のようなこれまで



に経験したことがない事態に対応できないと感じました。これは、私の趣味であるマラソンにも通じるかと…。レース前の準備、つまり練習や体調管理を怠ればレース前に決めた目標を達成することはできません。これはマラソンだけでなく、その他全ての事に共通するかと思えます。今年度は2年目。アスパラ農家として自立するための準備を継続し、楽しむ気持ちも大切にして活動していきます。【新規就農研修生 増崎圭太郎】



▲農家研修は庄山農園(庄山謙一代表)を中心とした富栄地区で開始。

厚沢部町地域おこし協力隊として、静岡県磐田市より山本和範さん(37歳、赤沼町)が着任し12月13日(木)、役場で辞令交付式が行われました。山本さんはグリーンアスパラを主とした農業経営での新規就農を目指して最長3年間、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し研修します。辞令交付式の後、浜田町長は「これまでの経験や知識を活かしつつ目標やビジョンを明確に持ち新規就農に向けて頑張ってください」と激励。山本隊員は「農家になることが夢だった。いろいろ教えてください」と語り、早速、農家研修を開始しました。

**新規就農をめざし
地域おこし協力隊
山本和範隊員着任**



▲12月9日(日)、富栄町内会(館谷芳雄会長)でも研修会を実施しました。

11月18日(日)、館町町内会(只野勲会長)主催「防災研修会」が館地域振興センターで開催され、地域住民ら約25名が参加しました。講師は、役場総務政策課住民運動係川瀬皓太主事と館駐在所・田原英行所長が務め、「避難情報が発令された時に取るべき行動や伝達方法」「館町の災害危険箇所や『自助・共助・公助』とは」「特殊詐欺の種類と見破るポイント」などを学びました。参加した金田吉章さんは「土砂災害時の指定避難所は旧館中、地震時の指定避難所は館小です」とハザードマップを見て確認していました。

**町民主導で研修会
災害時の行動と
詐欺を見破る方法**



▲第一生命労働組合函館営業職支部の皆さんありがとうございます！

「第一生命労働組合函館営業職支部(内藤要一執行委員長)の2名が12月20日(木)、絵本セットを寄贈するため厚沢部保育所を訪れました。贈呈式の前に橋端主任保育士が「プレゼントを持って来てくれた方がホールの外にいます」と話すと、「サンタさん！もう来ちゃったの?!」との声。思いがけない反応にホール内は笑顔が広がりました。第一生命労働組合函館営業職支部では平成6年度より毎年チャリティーバザーを開催。今年度も地域貢献活動としてバザー益金を活用し、保育所などに絵本セットを寄贈しています。

**第一生命労組が
厚沢部保育所に
絵本セット寄贈**



▲主催者の館観光促進会・佐藤永吉会長と。(館地区体育愛好会提供)

11月19日(月)、第6回館観光促進会杯バドミントン大会が館小学校体育館で開催され、館地区体育愛好会(細畑留美子代表)の22名が出場し、ダブルス11チームを2組にわけ対戦しました。町外から参加した西里都香さんは「中学生時代の懐かしい仲間や恩師と久しぶりに盛り上がりとても楽しい時間でした!!これからもリフレッシュしに帰ってきます!」と笑顔で話しました。なお、館地区体育愛好会では「楽しみながら和気あいあいと体を動かす仲間」を募集しています。ご興味のある方は、水曜日の夜に館小へGO!

**館地区体育愛好会
バドミントンで
リフレッシュ!**



▲「こっち見て～!みんなこっち見て～!」(素敵な過疎づくり提供)

厚沢部保育所クリスマス会が12月21日(金)、館保育所と鶴保育所クリスマス会が12月22日(土)に各保育所で開催されました。クリスマス会には、ゆだサンタさん(9頁参照)とおらいも君が招待され楽しい時間を過ごしていました。なお、3保育所のクリスマス会は本年4月、町営認定こども園の開園により今回が最後となります。40年近くクリスマス会を訪れている湯田さんは「子ども達に『少し遠くなるけど来年も来てね』と言われて嬉しかった。その言葉で、これまでの訪問を思い出し胸が熱くなった」と語りました。

**メリークリスマス
『3保育所最後の』
クリスマス会**



▲当支店考案の『メイクインごろっとカレー』。農協などで好評販売中!

12月8日(土)・9日(日)の2日間、JA新はこだて厚沢部基幹支店(田山光幸支店長)は棒二森屋本館地階催事場で『あつさぶの畑の食を楽しむ!』を開催し、あつさぶメイクインや山ごぼう、黒豆などを販売したほか、メイクインや白豆などを使った炊き込みご飯などを実演販売しました。また、先着60名限定の特別イベント『新米ふっくらんこすくいゲーム』や『丸ごと皮付きメイクイン塩煮詰め放題』も実施し瞬く間に定員に達していました。田山支店長や三浦センター長ほか農協職員の皆さん2日間大変お疲れ様でした!

**棒二森屋で
農協特別企画!
厚沢部の食を販売**



あじむの昔の話題

上俄虫鹿子舞伝来の謎

上里集落は天正年間(1580年前後)に陸奥国福島からやってきた徳兵衛が草分けと伝えられています。厚沢部町内では美和と並んでもっとも古い草分け伝承です。

一方、上俄虫の鹿子舞は文化年間(1800年代)に伝わったと言われていますから「あじむ」新しいという印象を持ちます。私は、上俄虫の鹿子舞はもっと古くから伝わったのではないかと考えていますが、「文化年間」という年代をあえて伝えておくことには意味があるでしょう。

歴史上の出来事として、文化年間に松前藩は陸奥国梁川に一時移転します。梁川は福島藩に隣接しており、松前藩の「梁川移封事件」が上俄虫鹿子舞の由来伝承に影響を与えたのかもしれない。

〔介護保険係長 石井 淳平〕



▲上俄虫鹿子舞の激しい「メジシ争い」の場面(H19年鹿子舞交流会より)。平成31年新春町内鹿子舞交流会は1月27日(日)10時から町民交流センター「あゆみ」にて開催します。

ねんきん講座

新成人の皆さん国民年金の加入手続きを忘れずに!

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残った時などにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

【義務と権利】
日本国内にお住まいの20歳から60歳までの全ての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

【加入の手続き】
学生や自営業者などの第1号被保険者となる方は、お住まいの市・区役所、役場で直接手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第2号被保険者の方や、その第2号被保険者に扶養される配偶者の第3号被保険者の方は勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

【保険料の猶予・免除】
学生であるなど収入が少な

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残った時などにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

【学生納付特例制度】は、所得がない学生の方ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。年金を受け取ることができなくなることや不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることを防止するための制度です。経済的な理由等により保険料の納付が困難な方のために、「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」もあります。

★ご不明な点等ありましたら
保健福祉課住民年金係へ
☎643313

★大会結果★

剣道スポーツ少年団

★第33回北海道スポーツ少年団剣道交流大会 (札幌市)
☆出場者氏名 干山愛梨さん (厚沢部中2年/剣道初段)
☆出場区分 中学生女子個人
☆戦績 予選リーグ敗退
◆大会を終えての感想と決意
「全道大会に出場し、改めて自分の力不足を感じました。気持ちの焦りがあり、普段の力を発揮できずに終わってしまった試合もあり、とても悔しかったです。これからは、技術面だけでなく精神面の成長を目標に指導していただく先生やサポートしてくれる親に感謝の気持ちをもって、来年も必ずこの大会に出場し結果を残せるよう日々稽古に取り組みでいきたいと思えます」



★大会結果★

柔道スポーツ少年団

★南檜山少年柔道大会 (12月8日土・上ノ国町)
【団体戦】
☆小学校低学年の部 (第3位)厚沢部少年団
☆小学校高学年の部 (第2位)厚沢部少年団
【個人戦】
☆小学校1年生の部 (第1位)板坂彪我くん(厚小)
☆小学校3〜4年生の部 (第3位)柴田依路くん(厚小)
☆小学校6年生の部 (第2位)石井透子さん(厚小)



法テラス江差通信

Vol.87

本年1月1日付けで法テラス江差法律事務所へ赴任いたしました弁護士柿谷佐保子と申します。今回は初めての執筆なので、まずは私の自己紹介をさせていただきます。

私は埼玉県で生まれ育った後、札幌の大学に進学し、初めて北海道に住みました。その後、東京の大学院に進学し、司法試験に合格しました。そして、司法修習生として函館で修習をし、東京の法律事務所での勤務を経て法テラス江差法律事務所への赴任が決まりました。

札幌と函館に住んでみて、北海道の景色も食べ物もとても気に入りましたので、江差に赴任が決まった時とても嬉しかったです。厚沢部についてもメークインの産地として知っていました。これからは仕事だけではなく温泉や道の駅にも遊びに行きたいと思っています。

私は東京の法律事務所において民事刑事を問わず様々な事件を担当し多くの法律相談を受けてきました。これまでの経験を活かしつつ今後皆様様の役に立つ弁護士になるための努力も怠らずに仕事をしたいと思っています。

弁護士は皆様が抱える問題の解決を目指す上で助けをすることが出来る職業です。全ての問題が法律によって解決できるとは限りませんが、法的な問題か迷ったらまずご相談に来ていただければと思います。ご自分一人では問題に立ち向かうことが大変でも弁護士がお手伝いすることで精神的な負担を減らすことができます。また、解決する上でどのような方法を探るべきか一緒に考えることもできます。弁護士は守秘義務があります。安心して相談ください。

【法テラス江差 弁護士 柿谷 佐保子】

活性化センターだより

『檜山ICTセミナー』に参加して

11月29日(木)、『檜山ICTセミナー』(檜山農業改良普及センター(本所・江差町、支所・せたな町)主催、檜山管内指導農業士・農業士会と檜山振興局共催)がせたな町で開催され約150名が参加しました。

『スマート農業』という言葉がメディアに登場して久しくなりましたが、農畜産分野で安定生産を進めるための技術革新が進んでいます。今回のセミナーでは、GNSSガイダンスや自動操舵、センシング技術を活用した肥料の投与などの講習がありました。

GNSSガイダンスでは、GPS等で位置情報を把握し利用することで肥料散布時の重複や散布漏れを少なくし、走行距離と作業時間の短縮が可能(夜間でも作業可)。

トラクターに自動操舵を導入する技術では、測位しながら精度の高い作業が自動運転で行われます。



▶トラクターの自動操舵

厚沢部町国保病院 (TEL64-3036) からののお知らせ

1月の外来診療

診療科	診療日
内科	月～金曜日(祝祭日は休診)
眼科	8日(火)・9日(水) 22日(火)・23日(水)

受付時間 午前・・・ 8時30分～11時30分
午後・・・ 13時30分～15時00分

※診療日は予定であり、医師の出張などで変更する場合があります。事前に病院へご確認ください。
※眼科診療は事前に予約していない方も診療日当日の予約に余裕があれば、受診が可能な場合がありますので、お問い合わせください。

『夜間救急外来診療』について

平成30年度の国の制度改正に合わせて、午後8時以降の受診は、原則、入院とされています。緊急性がない場合の受診は受付時間内(8時30分～11時30分、13時30分～15時00分)に受診いただくようご協力をお願いいたします。

なお、不安な場合にはお電話で相談してください。

※受付時間外に受診された場合、検査ができません。



北海道立江差病院 (TEL52-0036) からののお知らせ

1月の外来診療

診療科	診療日
整形外科	午前 月～金曜日(午前11時迄の受付)
循環器内科	午前 月～金曜日 午後 月曜日・金曜日
消化器内科	午前10時迄受付 8.22日(再診完全予約制) 午前11時迄受付 28日(再診完全予約制) 午前11時30分迄受付 金曜日(再診のみ)4日休 午後 水曜日と7.21日
呼吸器内科	午前 金曜日 午後 木曜日
総合診療(内科)	午前 月～木曜日(月曜日は10時から診療)
総合診療(外科)	午前 火～木曜日(外科は25日)
小児科	午前 月～金曜日(午後の受診は要相談)
泌尿器科	午前 月～金曜日 午後 水曜日
精神科	午前 月～金曜日(初診完全予約制)
産婦人科	午前 月～金曜日
耳鼻咽喉科	午前 9.10.15.16.23.24.29.30日(初診11時迄) 午後 10.24日
眼科	午前 10.24日(予約以外の方は10時迄に受付) 午後 9.16.23日
皮膚科	午前 火曜日
神経内科	11.25日

受付時間 午前・・・ 8時00分～11時30分(初診の方は9時00分～)
午後・・・ 13時00分～14時30分

※予約受付時間(定期患者のみ) 13時00分～16時00分
※診療日は予定であり、変更になる場合があります。

★★★ 糖尿病教室のお知らせ ★★★

糖尿病の患者さんや糖尿病に興味関心を持っている方を対象とした糖尿病教室を次のとおり開催します。
①日時 1月10日(木)12時30分～(以降毎週木曜日)
②場所 道立江差病院1階ロビー 会計横スペース

「インフルエンザは自然に治る??」

総合内科の黒田です。いきなりですが、皆さんは「風邪に効く薬はない」と聞いたことがありますか?

風邪とは厳密にいうとウイルス感染を指します。細菌にしか効かない抗生剤は効果がなく、解熱薬は一時的に熱を下げて楽になりますが、ウイルスを直接退治するわけではありません。つまり、風邪(=ウイルス感染)は体の免疫が働いて、自然治癒するのを待つしかありません。

一方、巷で流行している『インフルエンザ』もウイルス感染ですので自然治癒します。抗ウイルス薬であるタミフルやイナビルといった薬は発熱期間を24時間短くすると言われていますが、基本的には他のウイルス感染同様、自然治癒を待つしかありません。しかし、インフルエンザに感染すると、高熱や関節痛で体がだるくなります。インフルエンザワクチンは、感染予防よりも重症化予防に効果があると言われています。小児期や高齢者はインフルエンザ脳症や肺炎など重症化する可能性もありますので、積極的にワクチン接種を受けておいた方がいいです。また、過去にインフルエンザ感染で痛い目に合った人はぜひすぐにワクチン接種を受けましょう!



インフルエンザについて

- ※ノドなど気道粘膜から感染
→ こまめにうがい、飲水、保湿!
- ※インフルエンザの検査は、発熱12時間以上経過しないとウイルス量が少なく、検査精度が低い。
- ※ぐったり食事が取れないなど全身状態が悪い場合は、その前でも受診を。特に5歳未満や高齢者、喘息や肺炎腫患者、心疾患患者は注意です。
- *予防投与は保険適応ではありません。

☆☆☆ 各病院年始の診療開始日について ☆☆☆
★厚沢部町国保病院・・・1月7日(月) 8時30分より受付
★道立江差病院……………1月4日(金) 8時より受付



食生活改善協議会

今月の簡単レシピ

根菜のミルク粕汁



エネルギー 242kcal
塩分 0.6g

【材料】(2食分)

- 口ごぼう 1本
- 口大根 2cm
- 口人参 1/4本
- 口長ねぎ 適量
- 口豚もも薄切り肉 60g
- ・だし汁 500ml
- ・板粕 80g
- ・牛乳 1カップ
- ・塩 少々

【作り方】

- ①ごぼうは斜め薄切りにし水にさらしてあくを抜く。大根は厚さ5ミリのいちょう切り、人参は半月切り、長ねぎは小口切り、豚もも肉は薄切りにする。
- ②鍋にだし汁と①を入れて柔らかくなるまで煮る。
- ③板粕は少量の煮汁で柔らかくし、煮上がる5分くらい前に牛乳と塩を一緒に加えて味を調える。
- ④最後に長ねぎを加える。

食改さんのコメント

板粕は発酵食品で、肌や腸の調子を整えてくれる働きがあります。牛乳を使用することでコクとうま味が増し、カルシウムも摂れて減塩もできます。



図書館新情報

おすすめ図書



「ハーブのすべてがわかる事典」
(ジャパンハーブソサエティー 著)

日本や世界のハーブについて多様な情報をわかりやすくまとめた事典。特徴や歴史などの知識、栽培、料理など、ハーブの楽しみ方やレシピ、活用法まで詳しく解説された充実の1冊です。



●厚沢部町図書館では、お探しの資料が貸出中の場合、予約も承っています。また、道立図書館からの貸出やリクエストも受け付けています。どうぞ、お気軽にご利用ください。
●問合せ先 厚沢部町図書館(直通) ☎64-3436

「今日のタメロ(ぐち)英語」

(kazuma 著)

リアルな日常生活の普段使う英語を集めた会話集。
文法や発音からではなく、「だね」「ねえちょっと」「マジで」「ヤバイ」など日常で使いたい英語から覚えて学ぶ学習本です。



平成最後の年。あけましておめでとございます!平成でグローバル化が進み、少しずつ日常に溶け込んできました。これからの新しい時代に向けて世界をテーマにした本を紹介いたします。

新鶏分遣所車に



11月21日(大安)、厚沢部消防署鶏分遣所(鶏町)に新しいポンプ車が納車されました。これまでのポンプ車は昭和58年に納車され35年が経過。老朽化が進んできたことから更新となりました。新ポンプ車には、水と薬液を混合し圧縮空気を送り込み泡状にして放水できる『圧縮空気法消火装置(CAFS)』が導入され、水だけの場合と比べて5〜20倍の消火効率が得られます。なお、CAF S機能が付いた車両は厚沢部町では初めての配備となります。

戸籍の窓

(12月20日届出分まで)

おたんじょうおめでとう!

館町西口 ^{あやと} 翔くん 11/24
(智章さん&千春さん)

おくやみもうしあげます

上里 早瀬 光二さん(85歳) 11/25
新町 高木キクエさん(89歳) 11/25
滝野 久保田勝信さん(47歳) 12/7
新町 山館 貢さん(85歳) 12/11
新町 下川部明子さん(71歳) 12/16
新町 遠藤千恵子さん(88歳) 12/16

町の人口

平成30年11月末日現在

	世帯	男	女	人口	前月からの人口増減
下地区	1,139	1,078	1,194	2,272	(-3)
鶏地区	334	325	354	679	(±0)
館地区	452	442	489	931	(-5)
全町	1,925	1,845	2,037	3,882	(-8)

※外国人住民を含む

厚沢部町交通事故死 ゼロ記録簿

平成30年12月24日現在

連続 **1466** 日



厚沢部町ふるさと納税寄附状況

(12月20日届出分まで)

今月の寄附件数	355件
今月の寄附金額	4,140千円
平成30年度寄附件数累計	2,996件
平成30年度寄附金額累計	25,227千円
前年度寄附金額	1,320千円

(受付時間 9時~17時)



精神保健相談のお知らせ

北海道江差保健所では、臨床心理士がカウンセリングや相談に応じる精神保健相談(こころの健康相談)を次のとおり開催しますので、相談を希望される場合は1月10日(木)午前中迄に申込み願います。
なお、開催日以外でも随時保健師が相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

◆期 日 1月15日(火)
◆時 間 14時~15時
◆場 所 北海道江差保健所
◆相談料 無料
◆問合せ 北海道江差保健所 ☎52・1053

運転免許更新講習

◎江差町文化会館
☆1月10日(木)
◆優良運転者講習 13時~13時30分
◆違反運転者講習 14時15分~16時15分
☆1月22日(火)
◆優良運転者講習 13時~13時30分
◆一般運転者講習 14時~15時
◆初回更新者講習 15時45分~17時45分

1月以降の休日当番医

急遽変更になる場合がありますので念のため確認願います。

当番日	病院名	電話番号
1月1日(祝)	勤医協江差診療所	52-1366
2日(水)	乙部町国保病院	62-2331
3日(木)	上ノ国診療所	55-2017
6日(日)	佐々木病院	52-1070
13日(日)	道立江差病院	52-0036
14日(祝)	上ノ国診療所	55-2017
20日(日)	道立江差病院	52-0036
27日(日)	厚沢部町国保病院 (あっさぶ調剤薬局)	64-3036 64-3041
2月3日(日)	乙部町国保病院	62-2331
10日(日)	道立江差病院	52-0036
11日(祝)	厚沢部町国保病院	64-3036

善意感謝致します

●社会福祉協議会へ
☆御香料のお礼に代えて
新町・川股康博さんから 50,000円
☆福祉事業に役立ててと
新町・長峯みち子さんから
町民文化祭のバザー益金を
●町ふるさとづくり寄附金
★相模原市・林敏幸さんから 300,000円
●教育委員会へ
☆合格祈願に役立ててと
新町・神明社(西峰鉄三氏子
総代長)から木札47枚

行事 & お知らせ

『江差風力発電事業環境 影響評価準備書』について

『(仮称)江差風力発電事業』を江差町字泊町に計画中の江差ウインドパワー(株)では、環境の保全に関する事業者自らの考え方を取りまとめた準備書の内容について、次のとおり地域説明会を開催します。

◆期 日 1月9日(水)
◆時 間 17時30分~
◆場 所 町民交流センター
なお、準備書の縦覧を次のとおり行っていますので環境保全の見地からご意見をお持ちの方は、役場備付の意見書に記入し提出してください。

◆期 間 2月8日(金)迄
◆場 所 総務政策課前ロビー ☎52・1053

働いている調理師の方へ 調理師就業届出について

調理業務に従事している調理師の方は、2年毎に『調理師業務従事者届』を提出することが調理師法で義務づけられており、今年が届出の必要な年です。平成30年12月31日現在の状況を書き込み、1月15日(火)迄に届け出てください。届出が必要な調理師の方(寄宿舎学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人保健施設など多数人に飲食物を調理し供する施設や飲食店、魚介類販売業などの店舗で調理業務に従事している方)届出方法
届出用紙に必要事項を記載して提出してください。なお、インターネットでの届出も可能です。町ホームページにアクセスし提出してください。
□届出先・用紙配置・問合せ先
★北海道全調理師会江差支部
江差町字新地町103の2 ☎52・2583
★江差保健所企画総務課
江差町字本町63 ☎52・1053

『新春町内鹿子舞交流会』開催のお知らせ

私たちの祖先が生活や信仰の中で生み出した貴重な郷土芸能は、保存会会員の後継不足から存亡の危機に直面しているものが数多くあります。厚沢部町の鹿子舞は、平成13年より上里鹿子舞が再興を果たし4地区での活動となっています。また、平成20年度より美和権現獅子舞が交流会に参加しています。これらの保存会が一堂に会し実演交流することにより鹿子舞相互の連携を深め一層の振興を図るとともに他地域での再興を期するため『新春町内鹿子舞交流会』が開催されますので、ぜひ会場に足を運んでいただき、厚沢部町の伝統芸能をご堪能ください。

◆期 日 1月27日(日)
◆時 間 10時~12時
◆場 所 町民交流センター
◆出演 ①上里鹿子舞保存会
②富栄鹿子舞保存会
③美和権現獅子舞保存会
④当路鹿子舞保存会

『生活保護に関する無料電話相談会』開催について

生活保護制度は今年度から3年間にわたり生活扶助基準の引下げが決定しているなど生活保護をめぐる状況は一層深刻化しています。そこで、全青年司法書士協議会では、多くの不安を抱える生活困窮者や生活保護受給者を最後のセーフティーネットである生活保護制度へ1人でも多くつなげることを目的に、『生活保護無料相談会』を開催します。相談料は無料。相談内容に関する秘密は守られます。ぜひこの機会にご相談ください。

◆期 日 1月27日(日)
◆時 間 10時~16時
◆専用(臨時)電話番号 ☎0120・052・088
◆フラダンス教室
◆日程 1月23日(水):30日(水)
◆時間 13時~15時
◆受講料 各2,000円
◆申込締切 各実施日前日迄
○車両系(整地等)運転講習
◆日程 2月13日(水)~18日(月)

◆時間 8時30分~18時 ◆受講料

①38H:97,000円
②14H:44,000円
◆申込締切 2月2日(土)迄
○玉掛け技能講習
◆日程 2月19日(火)~21日(木)
◆時間 8時30分~18時
◆受講料
①19H:28,000円
②15H:24,000円
◆申込締切 2月9日(土)迄
○小型移動式クレーン講習
◆日程 2月22日(金)~24日(日)
◆時間 8時30分~18時
◆受講料
①20H:50,000円
②16H:44,000円
◆申込締切 2月9日(土)迄
○フォークリフト運転講習
◆日程 2月25日(月)~28日(木)
◆時間 8時30分~18時
◆受講料
①31H:52,000円
②11H:21,000円
◆申込締切 2月9日(土)迄
☆問合せ(申込)先
檜山地域人材開発センター
☎52・0160

☆☆☆総務政策課総務係からのお知らせ☆☆☆

平成31年新年交際会を下記のとおり開催します。ぜひご来場ください。
日時:1月7日(月)午後6時 場所:町民交流センター 参加料:2,000円
【問い合わせ先:総務政策課総務係 ☎64-3311】

☆☆☆南部桧山清掃センターからのお知らせ☆☆☆
1月26日(土)は休日のため施設へのゴミの搬入はできません。ごみ収集カレンダーにも掲載していますので、ご確認ください。
【問い合わせ先:南部桧山清掃センター ☎53-6301】

と き
 間 を
 刻 む

『江差追分会師匠会会長就任』『江差追分活動歴55周年』等

洪田義幸氏(美和)記念パーティー開催

12月9日(日)、江差追分会厚沢部美和支部(長峯みち子支部長)は当支部師匠・洪田義幸氏(73歳)『江差追分会師匠会会長就任』及び『江差追分活動歴55周年』並びに『当支部発足43周年』記念パーティーをホテルニューえさしで開催し、江差町・照井町長や江差追分関係者、地域住民や親族ら146名が盛大に祝った。



▲福島菜月さん(写真右)から洪田夫妻へ当支部会員直筆の記念色紙が贈られる。

洪田氏は昭和37年、地元・若狭松緑師(正調伝承の功労者)の子弟・福田松豊(末五郎)氏に師事。昭和39年、江差高校商業科卒業後、函館市勤務の傍ら函館商科短期大学に進学。二足の草鞋を履きながら江差追分にも打ち込み、昭和42年第1回道新杯全道民謡大会、追分の部で初優勝を収めた。昭和45年、美和に戻り(有)洪田産業を設立。代表取締役就任した。昭和49年、第12回江差追分全国大会で念願の優勝を果たし格付1級を授受した。師匠としては平成19年、第11回江差追分全国大会少年の部で福田光君を優勝に導き、平成22年には江差追分会上席師匠に認定。そして、平成30年、江差追分師匠会第5代会長に選任され厚沢部町民として初となる師匠会会長に就いた。

式典で江差追分会会長の照井江差町長は「洪田氏は師匠会や会員からの信頼が厚く、人格識見に優れこの度の選任となった。これまでも洪田氏は江差追分を次の世代に繋ぐために後継者の育成とHP等での情報発信に力を入れるよう進言されてきた。今後もあるご指導ご活躍を」と祝辞。洪田氏は「江差追分を通じて良き仲間良き師匠に恵まれた。江差追分という存在は偉大である。今後も先人の思いと皆さんとの絆を大切に精進していく。また、江差追分の価値を日本だけでなく世界中の人々に伝えるため古き良き伝統を守りつつ、ただ守るだけでなく時代にマッチする追分新しい追分を追求したい」と挨拶。洪田氏の追分への情熱は今なお満ち溢れていた。

「古き良き伝統を守り

今の時代にマッチする

新しい江差追分を追求」

あとがき

▼新年あけましておめでとうございます！昨年は皆さんにとってどのような1年になりましたか？▼その年の世相を漢字一文字で表す『今年の漢字』では、「災」と発表された。2〜3頁に掲載した『ゆく年あつさぶの1年』にもあるように、当町でも史上最多の1日降雪量記録や「町内全域の停電」のほか「複数の台風直撃」や「全ての農作物不作」など近年稀にみる災いの多い年だった。どうか今年も穏やかで農家さんもお喜びのうちに一年になりませうに。また、昨年の『新語流行語大賞』では、平昌五輪カーリングで銅メダルを獲得した道産子チームから選ばれた「そだねー」が選ばれるカーリング。互いの頭脳と技術で削り合う攻防戦。その対戦の途中にある休憩時間(作戦タイム)で仲間と輪になって話し合い「そだねー」の声。厳しい戦いの最中に見られた仲間とのほっこりするやりとり。国民は癒された。一方、同大賞トップテンに入った「ご飯論法」。国会審議で真正面から議論をせず、のらりくらりと論点をすり替える答弁をさして広まった。国民を軽視したやりとりにはお腹一杯だ。▼本年は新元号に変わり町でも認定ことも園開園など新たなコトが始まる。上記洪田義幸氏のように「新しい〇〇を追求、挑戦する1年」としたい。(三)

